

令和5年 第1回大河原町教育委員会定例会会議録

1 招集日時 令和5年1月18日(水) 午後2時00分

2 招集場所 大河原町役場 4階 委員会室

3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、小山明子委員、鈴木洋教育長

4 説明のため出席した者

佐藤勝弘 教育総務課長、木村武俊 生涯学習課長、山家一博 学校教育専門監

5 開 会 午後2時00分

6 令和4年第12回教育委員会定例会会議録の承認について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 承認する。

一盃森委員、丹羽委員 署名。

7 教育長報告

(1) 一般事務報告

報告第1号 令和5年度教育関係予算の要求状況について

教育総務課長、生涯学習課長より説明

舟 山 委 員 | 机の購入。机のサイズは同じか。

佐藤教育総務課長 | 小中学校の要求で購入するが、低学年用と高学年用でサイズが変わってくる。

鈴木教育長 | タブレットの影響で、机の天板の大きさなど大きいものだと良いという意味。

佐藤教育総務課長 | 各学校と話はしてみるが、現状の机・椅子の大きさとなる。

一盃森委員 | 机の規格について、ひと回り大きくするかなどのお話がでていないのか。

鈴木教育長 | 老朽化によつての新規の要望。タブレット関連での机の大きさの要望の話はない。教室の大きさもある。

一盃森委員 | 特別教室へのエアコンの話。大中の北側の特別教室も要望があったと思うが、年次計画か。

佐藤教育総務課長 | 予算ヒアリング等の内容説明。年次計画で実施する。

丹 羽 委 員 | 新規事業の賠償責任保険。何か例などがあつたのか。

佐藤教育総務課長 | 適用事例及び保険内容について説明。

小山委員	図書整備事業が増額なので、利用者を増やす工夫が必要。
鈴木教育長	一人当たりの図書費が大河原町はまだまだ少ない状況。 今後も、図書環境整備が必要である。
舟山委員	馬取山公園の管理事業。トイレが無い状況。トイレがあれば利用者が増える。簡易トイレなどは費用もあまりかからないと思う。
木村生涯学習課長	遺跡めぐりなどで利用があるがトイレや駐車場が無い現状である。 今後、簡易トイレ等も含め検討していきたい。

(2) 専決事務報告 なし

8 議 事

議案第1号 昆虫標本維持管理会計年度任用職員の任命について

議案第2号 大河原町地域学校協働本部員の委嘱について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

9 その他

(1) 教育長報告 (校長会資料による報告)

1 対話型論証

(1) 対話型論証のすすめ (松下佳代)

(2) 『対話型論証による学びのデザイン』 (松下佳代)

各小中学校では現在、対話的学びを取り組んでいる。分からない子に寄り添って、すべての子が分かる授業を実現する。対話型論証は「主張」「事実」「理由づけ」等、論理的な思考を育成していく対話であり、今後、このような力がないと協働で解決するのが難しい。

2 不登校

(1) 私たちは「不登校」をどう考えればよいのか (貴戸理恵)

「多様な進路」の一環としての不登校と、貧困や障害などが絡む「漏れ落ちた」不登校の二極化が起きているように見える。

不登校の子どもたちに多様な人と関わらせる機会が大事。

(2) 報じるべきは不登校の人数か? (内外教育)

人数の報道よりも、不登校のまま大人になったときどうなるかを考える。教育委員会や学校は、もっとできることがないのか子供の立場に立って考え続けていかなければならない。

3 発達障害

(1) 小中通常学級発達障害 8.8% (河北新報)

発達障害の在籍率が 8.8%という数値が文科省より公表された。10 年前に比べ 2.3 ポイント増えている。
大河原町内については現在調査中である。

(2) 『学校の中の発達障害』(本田秀夫)

学びへのモチベーション、子ども同士のリスペクトなど、私たちが今取り組んでいる「対話的学び」に通じており、弱者に目を向けていくのが重要。

4 IBA英語検定(中学2年対象)結果

大河原中、金ヶ瀬中の結果である。今度の全国学力調査の英語に期待する。

5 令和5年度教師の指導力向上研修計画(案)

確定した計画案について説明。

6 「ゲーム・ネット依存の現状とリカバリー」(中山秀紀)

低学年の内から保護者の方に依存症になる可能性があることを周知するのが大事。来年の「明日青のつどい」で取り上げ、子どもたちに考えていただき周知する。

7 年度末・年度始めのリスク・マネジメント

未履修や誤記入のないように。

8 その他

資料に基づき連絡事項・授業・行事・交流会・研修会等の説明。

舟山委員	町内の小中学生の子は、ネット依存症の予備軍みたいなのがいるのか。親が感じているかアンケートなどで調査したことがあるか。家庭の環境が変わらなければ、強い指導などができないと思う。 親たちがどのくらい危機意識をもっているか知りたい。
山家専門監 鈴木教育長	来年度の明日青のつどいに向けて保護者対象アンケートを進めている。 スマホが学力を低下させる。と言われている。データを集め子どもたちや各団体の代表者と議論していきたい。
一盃森委員	不登校の話の中で、「子どもの育ちには共同性が必要」という前提のもと、 「地域が崩壊してもう学校くらいしか育つ場がない」という部分。大河原では地域崩壊はしていないと思う。

	<p>しかし、子どもたちの生活自体が危機に晒されている中、学校の教育、学校の空間という場が子どもたちを育てていくうえで最後の砦である。</p> <p>ゲーム依存、ネット依存などは、やはり、家庭の親がどのように子どもに関わって子育てしていくのかが重要。まずは、家庭で約束事を決めて、リスク要因を理解していただくのが大事。</p> <p>子どもたちの現状に関わり、大河原町としてはどのように取り組んでいくのかを考えていくのが重要。</p>
丹羽委員	<p>ゲームやネット依存の話。ある脳科学者が言っていたが、現代人の1日の情報量が江戸時代の1年分の情報量に匹敵するという。脳過労で思考力・判断力の低下。子のストレス解消が必要。例えば、先生と子が教室で学ぶ以外の場で楽しみの工夫があると良い。</p>
山家専門監 小山委員	<p>先生と子どもがいっしょに、いろいろな活動が作れば良いと思う。</p> <p>同じくゲームやネット依存の話。気づかないうちになるのが怖い。危機感と怖さを分かってから使用するのが重要。親が危機感を持って伝えていかなければならない。</p> <p>コロナ禍の中、家でタブレットの授業。学校との違いは、臨場感がない。緊張感がないという。やはり、対面に勝るものがなく、人とのつながりが大事。</p> <p>発達障害の話。保護者より聞いた病院のアドバイス。席を一番前になったところ落ち着いたという話を聞いた。早い段階で適切な環境を整えていくのが大事。</p>
鈴木教育長	<p>教室など、前面は装飾を少なくすっきりしておくのが大事だと言われている。</p>
一盃森委員	<p>教員の時間外勤務の話。今年度から2学期制となり、影響はなかったか。何が負担になっているのか現状で分かれば教えてほしい。考えていかなければならない。</p>
山家専門監	<p>年々時間外勤務は減少している状況だが、中学校は部活動の影響。小学校は翌日の授業研究などの影響と思われる。</p>
丹羽委員 一盃森委員	<p>先生方が健康で笑顔でないと子どもが安心できない。教育委員会で工夫を。</p> <p>2学期制になり、良かったことは何か。先生方が子どもに向き合える時間が増えたとか、働き方の影響が分かれば良いと思う。</p>

(2) 各課長報告

教育総務課長、生涯学習課長

行事予定について説明。

学校教育専門監

令和4年度全国体力・運動能力調査結果について説明。

10 次回教育委員会の開催日程について

鈴木教育長 | 次回の定例教育委員会は令和5年2月15日（水）午後2時から開催する。

11 閉会宣言 午後4時00分

令和5年2月15日

署名委員

署名委員